

記者発表資料		
発表年月日	送信枚数	発信元
令和5年3月2日	9枚 (本紙含む)	上郡記者クラブ事務局 担当：福井 TEL：0791-52-1112 FAX：0791-52-5172

上郡町議会定例会一般質問の内容

3月2日（木）に議会運営委員会を開催し、一般質問の通告内容については別紙のとおりと決めた。議会中継はケーブルテレビでも放送。

■一般質問通告書及び質問事項

別紙のとおり

■問い合わせ先

部署： 上郡町議会事務局

住所： 赤穂郡上郡町大持 278

TEL：0791-52-3512 FAX：0791-52-6650

さわやかに歴史と
未来の出逢うまち



上郡町

令和 5 年 3 月上郡町議会定例会

一般質問通告書及び質問事項

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(1) 三浦 義人	1. 自然災害による緊急避難場所開設について ① 1 月 24 日～25 日未明にかけて 10 年に 1 度の豪雪により、JR 山陽本線上下線の上郡駅手前で、24 日 19 時頃から 25 日 16 時頃まで運行中止になり、上郡駅構内に 80 人～100 人の学生が足止めされ、宿泊施設を確保できず車中泊したことについて問う。 ・この状況について行政は把握できていたか。豪雪時の危機管理体制を問う。 ・自然災害時の JR や智頭急行との連絡・連携体制を問う。 ・緊急避難所や非常食の提供について問う。 ② 学校給食委託事業者と「災害時等における食事提供協定」を締結されたが、実際の災害時に対応できるか。連絡・連携体制を問う。	—	町 長
	2. ひょうごで広がる「シビックテック」について ① 県が 2022 年度に始めた新事業「ひょうごテックイノベーションプロジェクト」について、町の取り組みを問う。 ② プロジェクトの中で地域の課題を解決に導き、商機を探る民間事業者と行政とが連携を取れるかを問う。	—	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(2) 松本じゅんいち	1. 産業廃棄物について（施政方針 P1 より） 最終処分場建設反対を決めた自治体として、子どもからお年寄りまでゴミを自分事として取組み、ゴミ削減に向け、学習と実践を図るチャンス。具体策を問う。	－	町 長
	2. 職員の意識改革と町長の人事権の実行について（施政方針 P9 より） ① 職員の近い将来の働き方のイメージとビジョンを問う。 ② 町民の幸せ実現のため機構改革や人員配置を、長の特権である人事権をフルに活用されているか。 ③ 民間人の採用（複数）で組織の活性化（現状打破）をはかるべきと考える。取組みを問う。	－	町 長
	3. 「シビックプライド意識」について（施政方針 P2 より） ① 具体策を問う。 ② 具体策の実行法を問う。	－	町 長
	4. 森林の環境整備策について ① 森林の果たす役割を問う。 ② 環境整備策に他自治体の協力も得て新規事業の開拓が可能である。「できない」でなく「できる」立場で挑戦する意思はあるか。 ③ 森林を守るためにも将来条例の制定が必要と考える。条例制定に対する本気度を問う。	－	町 長

質問者	質問の要旨	揭示物	答弁を求める者
(3) 田渕 千洋	1. 女性活躍社会について(施政方針 P15 より) ① 町としての女性活躍社会の実現に向けて、町長の見解を問う。 ② 男女共同参画プランについて、昨年 377 万円の予算をつけ策定事業を行った成果を問う。	—	町 長
	2. 子ども・子育て支援について(施政方針 P3 より) ① 高校生医療費助成について、入院医療費に留まるのか。 ② 近隣市町に鑑み、さらに拡充すべきではないのか。	—	町 長
	3. 有機食材給食について (施政方針 P3.P6.P17 より) ① 有機食材を取り入れる意図・計画を問う。 ② 町立こども園に限定するのか。私立との兼ね合いは。 ③ 食材の調達は可能なのか。	—	町 長
	4. 行政の見直しについて(施政方針 P8 より) こども家庭センター設置に向けたプランは、その具体策を問う。	—	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(4) 佐野 廣一	1 地域の強みを活かした新たな魅力の創出について (施政方針 P6 より)	—	町 長
	① 地域活性化起業人制度を活用し、新たな観光コンテンツの造成・観光資源の発掘を図るについて問う。		
	2. 地域で支え合い健やかに暮らせるまちづくりについて (施政方針 P12 より)	—	町 長
	① 妊産婦健康診査費補助金について問う。 ② 介護予防・日常生活支援総合事業について問う。		
	3. 地域資源を活かした雇用の創出とにぎわいのあるまちづくりについて (施政方針 P17 より)	—	町 長
	① 昨年実施したキャンプツアー実証実験の結果を踏まえての近隣市町と連携したキャンプツアープログラム開発について問う。		
	4. 新年度のふるさと納税について	—	町 長
	① 令和 5 年度の目標額及び目標の根拠を問う。 ② 令和 4 年度の新規返礼品業者は。 ③ 企業版「ふるさと納税」の実績及び見込みは。 ④ 地域活性化起業人制度を利用して成果に繋がられないか。		
(5) 澤田 正治	1. 産廃処分場問題について	—	町 長
	① 県や近隣市町と連携をとり、事業者の動向も注意しながら今後の施策展開に繋がりたいについて。(施政方針 P1 より) ② 施策は環境行政と潮流に沿っているかを問う。		
	2. 農業関係の施政方針について	—	町 長
	① 有機農業の推進について問う。 (施政方針 P6. P17 より) ② 有害鳥獣防除対策について問う。(施政方針 P17 より)		
	3. ピュアランド山の里について	—	町 長
	専門家や住民代表を含めた検討委員会の立ち上げについて問う。(施政方針 P8 より)		

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(6) 米田 浩樹	1. 施政方針について ① 「環境を大切に」とあるが、その中身が書かれていない。施策は何かを問う。(施政方針 P3 より) ② 有機農業で作った農作物の販路はあるのかを問う。(施政方針 P6 より) ③ 町内事業者の人材不足の原因はどこにあるのかを問う。町内企業への就職支援策は何か。(施政方針 P7 より) ④ 「男女共同参画プラン」と「青少年健全育成」を問う。「ジェンダー平等の上郡町」となるための施策は何か。(施政方針 P15 より)	—	町 長
	2. 上郡町の教育について ① ICT（情報通信技術）活用の学習指導は進んでいるのか。GIGA スクール構想で児童生徒全員に配布されたタブレットの活用状況と成果を問う。 ② 情報リテラシー教育の具体的な中身と対象を問う。ネットトラブルは若者だけではないが、他世代向けのリテラシー教育はどう進めるのかを問う。 ③ ここ5年間、町内の年間出生数が60人未満だが小学校再統合の方針は。また、少ない子ども一人ひとりを伸ばす教育実践の具体策を問う。	—	町 長 教育長
	3. 町民活動の活性化について ① 町民の地域おこし活動への支援策を問う。 ② ポイント制度を、町内で町内外の方が健康づくりやボランティア活動をしてポイントをもらい、町内で買い物をする地域通貨に発展できないかを問う。	—	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(7) 立花 照弘	1. 産業廃棄物最終処分場建設反対の方向性について（施政方針 P1 より） ① 今後の取り組み方針を問う。 ② 事業者との協議・交渉はどうするのかを問う。	—	町 長
	2. J R利用促進及び利便性向上の取り組みについて（施政方針 P11） ① J Rの電車と地域公共交通（バス）との連携が不十分であると思うが。 ② J R利用促進の具体策について問う。 （鉄道をコンテンツにした情報発信とは） ③ J Rへの列車ダイヤの充実と引き込み線利用の要望状況について問う。	—	町 長
	3. こども園、小中学校における環境整備について（施政方針 P14） ① 町立こども園での食育の具体策と小中学校での食育の取り組みについて問う。 ② 送迎バス等での事故防止策を問う。 ③ 不適切保育の防止策及び私立子ども園への指導について問う。	—	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(8) 河井 正人	1. 魅力ある農業の創出・有機農業について（施政方針 P6 より） 有機農業を実践する農業者の組織化・団地化の詳細を問う。	－	町 長
	2. 防災対策について（施政方針 P10 より） 災害廃棄物処理計画の策定を進めるとあるが、詳細を問う。	－	町 長
	3. 地域で支え合い健やかに暮らせるまちづくりについて（施政方針 P12 より） ① 認知症対策の認知症サポーターの養成について問う。 ② 認知症の人やその家族を支援する「チームオレンジコーディネーター」の取り組みを問う。	－	町 長
	4. 地域資源を活かした雇用の創出とにぎわいのあるまちづくりについて（施政方針 P18 より） 国から配分される森林環境譲与税を活用しての森林の環境整備について問う。	－	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(9) 井口まさのり	1. 施政方針について ① 何をもって全ての世代に愛着を持ってもらうのか。住み続けようと考えてもらうための施策を問う。 ② 財政健全化に向けた取り組みがうすいのはなぜか問う。	—	町 長
	2. ピュアランド山の里について ① 町長はピュアランドに対しての政治的判断をどのように考え、検討委員会を設置するのかを問う。 ② 情報発信の遅さを問う。 ③ 方向性を検討するタイミングが遅すぎる。何をしていたのかを問う。	—	町 長
	3. 入札とプロポーザルの考え方を問う ① 行政は地元業者の存続よりも安ければいいという観点から入札をされていないかを問う。 ② 入札制度をなぜ国や県の基準に合わせないのかを問う。 ③ 入札とプロポーザルは根本的に内容が違い、プロポーザルについては、行政からの委託業務となる。しっかりと相手業者を調査する必要があると考えるがどう考えるのかを問う。	—	町 長